



オンリーワン[®] フロアブル

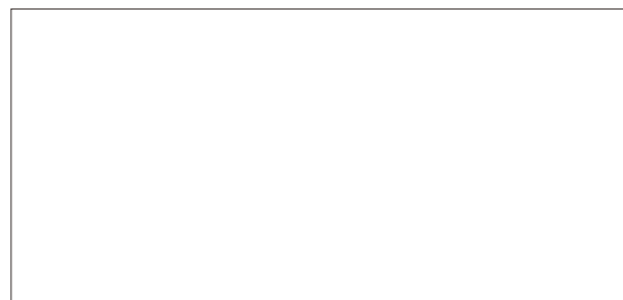
ものを言うこの一本



茶・落葉果樹の
主要病害に
高い効果を発揮します！

技術資料

- 使用前にはラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。



バイエルクロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262
www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室：☎ 0120-575-078 (9:00~12:00、13:00~17:00 土・日・祝日をのぞく)

はじめに

オンリーワンフロアブルは、バイエルクロップサイエンス社が開発したエルゴステロール生合成阻害剤テブコナゾールを有効成分とする浸透移行性殺菌剤です。
幅広い殺菌スペクトラムを有し、果樹・茶・たまねぎ・ねぎなど多くの作物に適用があります。



特長

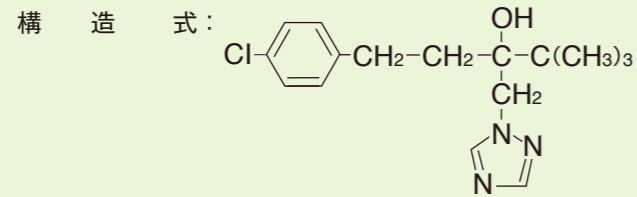
- ① **殺菌スペクトラムの広い薬剤です。**
りんごの黒星病・モニリア病をはじめ、果樹、茶などの主要病害に対して、幅広い殺菌スペクトラムを有しています。
- ② **浸透移行性を持った薬剤です。**
散布された薬剤は、葉の表面から吸収され浸透移行により、植物体内に均等に分布し効果を発揮します。
- ③ **散布適期幅の広い薬剤です。**
予防効果と治療効果の両方を有しており、残効性にも優れるので散布適期幅が広く使いやすい薬剤です。
- ④ **果面に対する汚れの少ない薬剤です。**
フロアブルタイプなので、果面が汚れにくく、特にぶどうでは、果粉溶脱が少ない薬剤です。
- ⑤ **エルゴステロールの生合成を阻害する薬剤です。**
病原菌の細胞膜構成成分であるエルゴステロールの生合成を阻害することにより効果を示す薬剤です。
- ⑥ **環境に対する影響の少ない薬剤です。**
人畜に対する安全性が高く、水生動植物および、蚕やミツバチ等の有用昆虫に対する影響も少ない薬剤です。

目次

| | | | |
|-------------|---|-----------|----|
| はじめに | 1 | あんずの試験成績 | 7 |
| 特長 | 2 | かきの試験成績 | 8 |
| 物理的・化学的性状 | 3 | なしの試験成績 | 9 |
| テブコナゾールの移行性 | 3 | ぶどうの試験成績 | 10 |
| 適用病害および使用方法 | 4 | ねぎの試験成績 | 11 |
| りんごの試験成績 | 5 | たまねぎの試験成績 | 11 |
| おうとうの試験成績 | 6 | キャベツの試験成績 | 11 |
| ももの試験成績 | 7 | にんにくの試験成績 | 11 |
| すももの試験成績 | 7 | 茶の試験成績 | 12 |
| | | 混用事例 | 13 |

物理的・化学的性状

商品名： オンリーワン フロアブル
 一般名： テブコナゾール (Tebuconazole)
 化学名及び成分量： (RS) -1-p-クロロフェニル-4, 4-ジメチル-3-(1H-1, 2, 4-トリアゾール-1-イルメチル)ペンタン-3-オール……………20.0%



分子量： 307.8 g/mol
 水溶解度： 0.032g/L (20℃)
 分配係数(log Pow)： 3.7(20℃)

■テブコナゾールは、植物病原真菌（カビ）の細胞膜構成成分であるエルゴステロールの生合成を阻害し、細胞膜の形成不全を起します。このことから EBI (Ergosterol Biosynthesis Inhibitor) と呼ばれます。また、エルゴステロール生合成系の中間体における 14 位炭素の脱メチル化 (Demethylation) を阻害 (Inhibition) する事から DMI (Demethylation Inhibitor) とも呼ばれます。

テブコナゾールの移行性

りんご葉での¹⁴C標識テブコナゾールを用いた試験で、葉全体に移行する事が認められています。



オンリーワンはバランスの良い移行性を有し、長い残効性を発揮します。

(バイエルクロップサイエンス社)

適用病害および使用方法

(2015年11月現在の登録内容)

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数 (倍) | 10アール当り使用液量 (ℓ) | 使用時期* | 使用回数* | 使用方法 | 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数 (倍) | 10アール当り使用液量 (ℓ) | 使用時期* | 使用回数* | 使用方法 | | | | | | |
|------|---|---|-----------------|-------|-------|----------------------------|---------------------------------------|---------------------|---------------|-----------------|-----------------|--------------|------|-------|-------------------|----------------|-------|---------|-------|
| りんご | モニリア病 斑点落葉病 黒点病 うどんこ病 褐斑病 灰色かび病 赤星病 | 2,000 | 200~700 | 7日 | 3回 | 散布 | いちじく | 株枯病 | 2,000 | 5~10ℓ/樹 | 生育期 但し 前日 | 3回 | 散布 | | | | | | |
| | おうとう | 灰星病 炭疽病 黒斑病 褐色せん孔病 | | | | | 2,000 | 前日 | 2回 | キャベツ | 菌核病 | | | 1,000 | 100~300 | 7日 | | | |
| | | もも ネクタリン | | | | | 灰星病 ホモフス腐敗病 黒星病 うどんこ病 炭疽病 | | | 2,000~4,000 | 前日 | | | 2回 | ねぎ わけぎ あさつき | さび病 黒斑病 | 1,000 | 150~300 | 14日 |
| | かき | | | | | | 炭疽病 うどんこ病 落葉病 灰色かび病 | 2,000~3,000 | 前日 | 2回 | | | | | たまねぎ | 灰色腐敗病 灰色かび病 | 1,000 | 200~700 | 前日 |
| | | | | | | | なし | 輪紋病 黒斑病 うどんこ病 | | | | | | | 2,000 | 前日 | 2回 | ホップ | うどんこ病 |
| うめ | 黒星病 すす斑病 灰星病 | 2,000~4,000 | 前日 | 2回 | にんにく | さび病 葉枯病 白斑葉枯病 黄斑病 | | 1,000~2,000 | 100~300 | 7日 | | | | | | | | | |
| | 小粒核果類 (うめを除く) | 黒星病 灰星病 | | | 2,000 | 前日 | 2回 | にら | さび病 | 1,000~2,000 | 100~300 | 14日 | | | | | | | |
| ぶどう | | 晩腐病 黒とう病 さび病 灰色かび病 うどんこ病 すす点病 褐斑病 | 2,000 | 前日 | 2回 | | | にら(花茎) | さび病 | 1,000~2,000 | 100~300 | 前日 | | | | | | | |
| | りんどう | 葉枯病 花腐菌核病 | 2,000 | | | 前日 | 2回 | しょうが | 白星病 | 2,000 | 200~700 | 3日 | | | | | | | |
| 茶 | | 炭疽病 もち病 褐色円星病 | 2,000~3,000 | 前日 | 2回 | | | しそ | さび病 | 4,000 | 150~300 | 21日 | | | | | | | |
| | 未成熟 そらまめ | さび病 | 4,000 | | | 前日 | 2回 | 茶 | 新梢枯死症 網もち病 | 2,000 | 200~400 | 7日 | | | | | | | |
| ゆり | | 乾腐病 | 50 | 前日 | 2回 | | | 未成熟 そらまめ | さび病 | 4,000 | 100~300 | 前日 | | | | | | | |
| | チューリップ | 球根腐敗病 | 50 | | | 前日 | 2回 | ゆり | 乾腐病 | 50 | — | 植付前 又は貯蔵前 | | | | | | | |
| りんどう | | 葉枯病 花腐菌核病 | 2,000 | 前日 | 2回 | | | チューリップ | 球根腐敗病 | 50 | — | 植付前 | | | | | | | |
| | りんどう | 葉枯病 花腐菌核病 | 2,000 | | | 前日 | 2回 | りんどう | 葉枯病 花腐菌核病 | 2,000 | 200~300 | 発病初期 | | | | | | | |

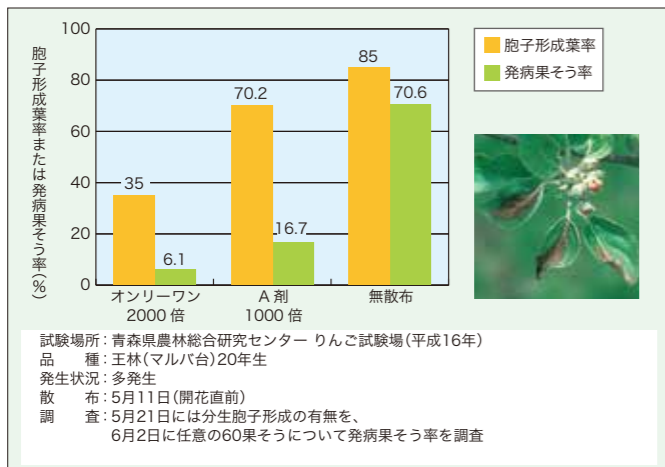
*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫(摘採)前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注意事項

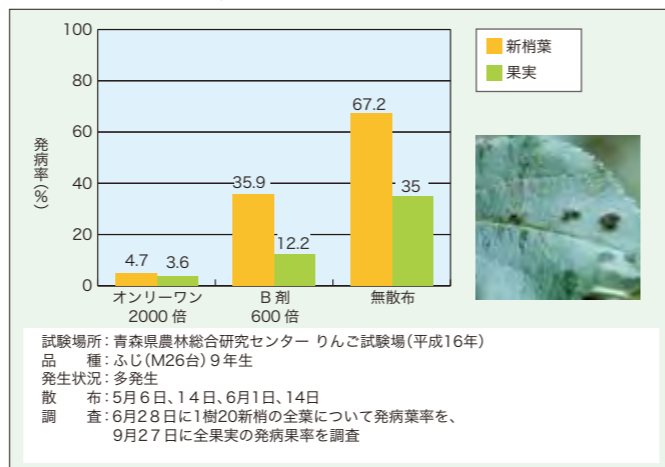
- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきって下さい。
- 本剤は貯蔵中に分離することがありますので、使用に際しては容器をよく振って下さい。
- りんごのモニリア病に対して使用する場合、葉腐れの初期病斑発現直後に散布して、実腐れの発生を予防する目的で使用して下さい。
- 本剤は茶の新梢枯死症に対して、その他の病害との同時防除に使用できますが、多発が予想される場合には効果が劣る場合がありますので注意して下さい。
- はくさい、だいこんに対して薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないよう注意して下さい。
- 使用液量は対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節して下さい。
- いちじくに使用する場合、生育抑制などの薬害のおそれがありますので、ポット栽培などの根域が抑制される栽培条件や、移植一年目の幼木での使用はさけて下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意して下さい。特に適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

りんごの試験成績

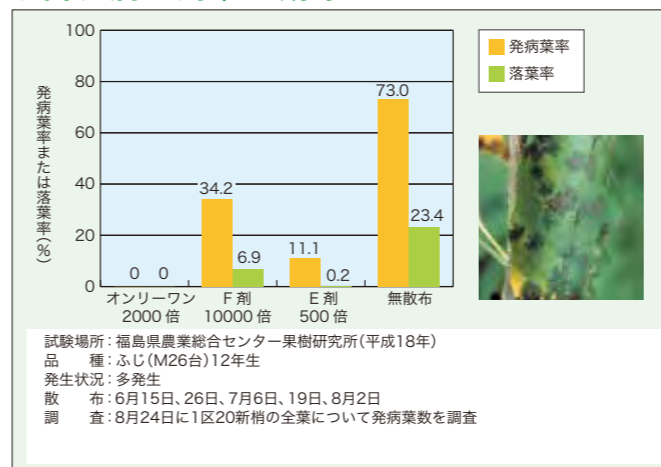
●モニリア病に対する効果



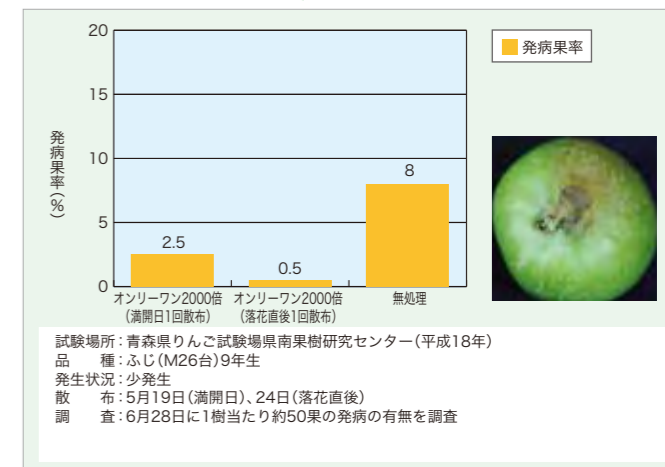
●黒星病に対する効果



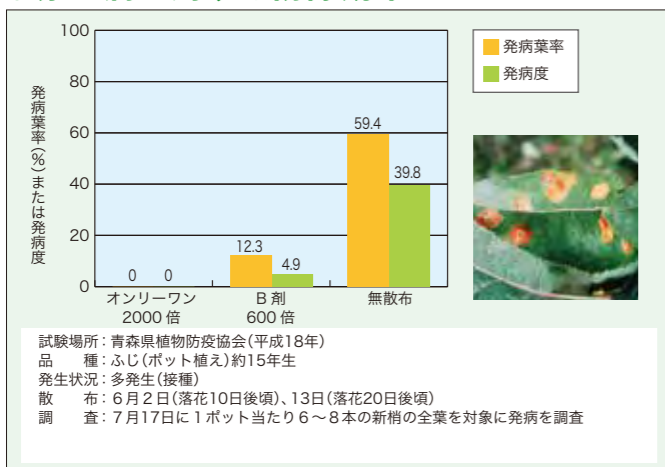
●褐斑病に対する効果



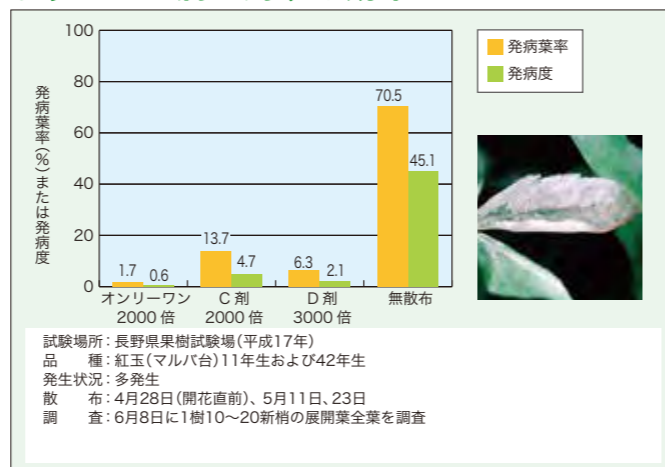
●灰色かび病に対する防除効果



●赤星病に対する防除効果

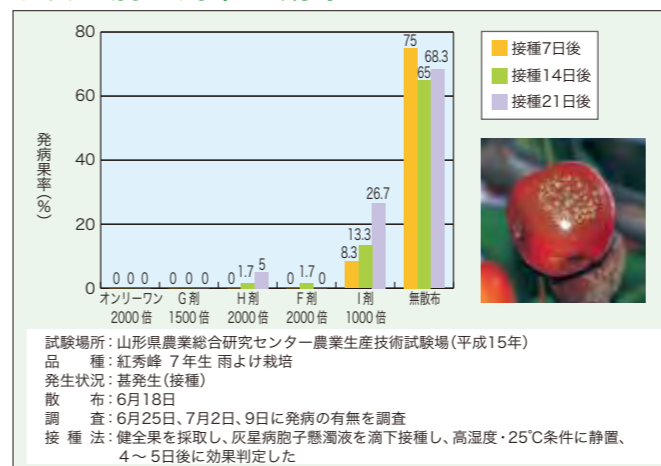


●うどんこ病に対する効果

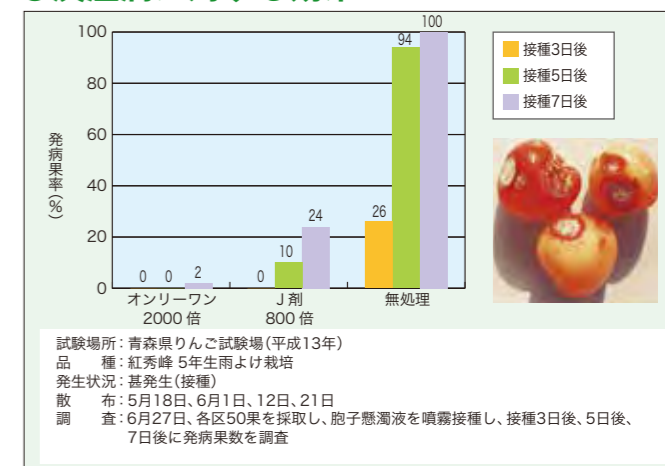


おとうの試験成績

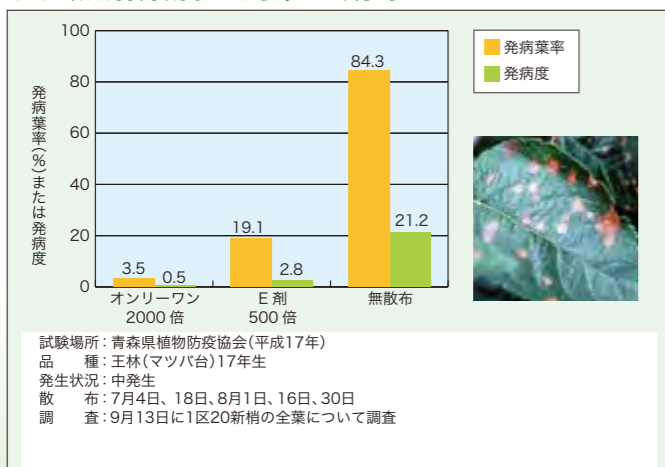
●灰星病に対する効果



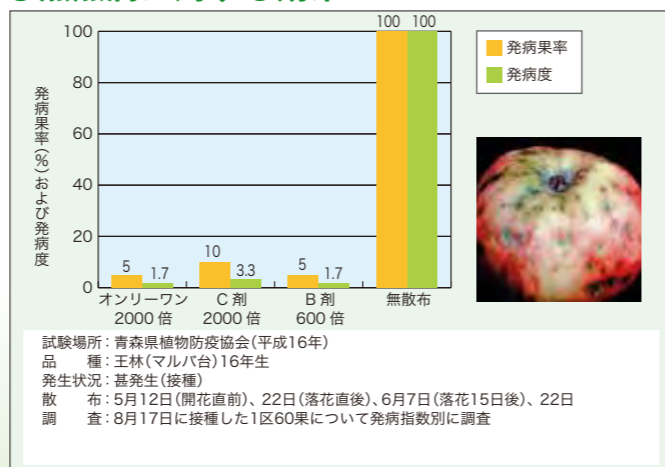
●炭疽病に対する効果



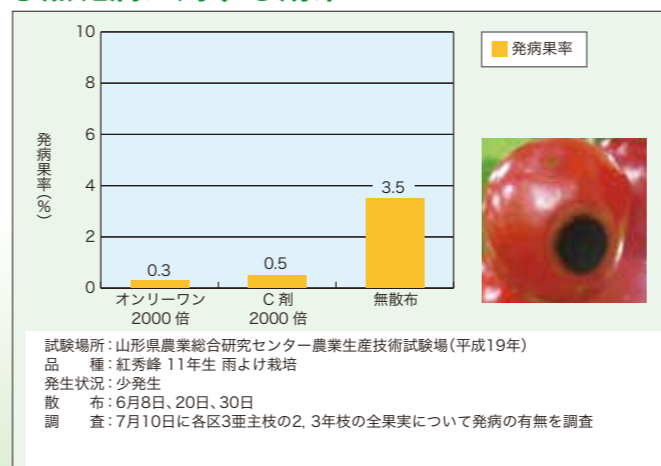
●斑点落葉病に対する効果



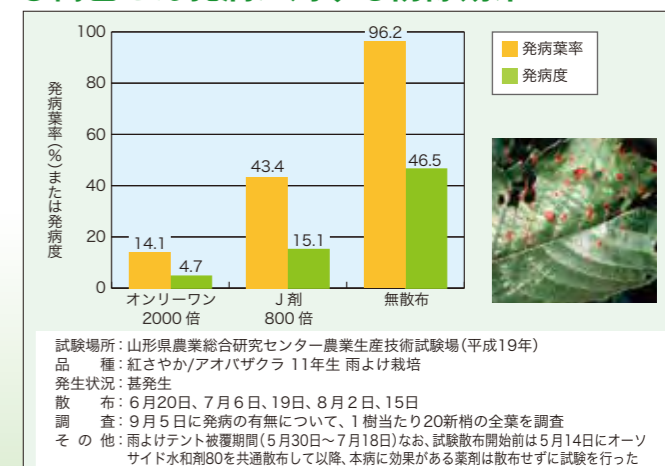
●黒点病に対する効果



●黒斑病に対する効果

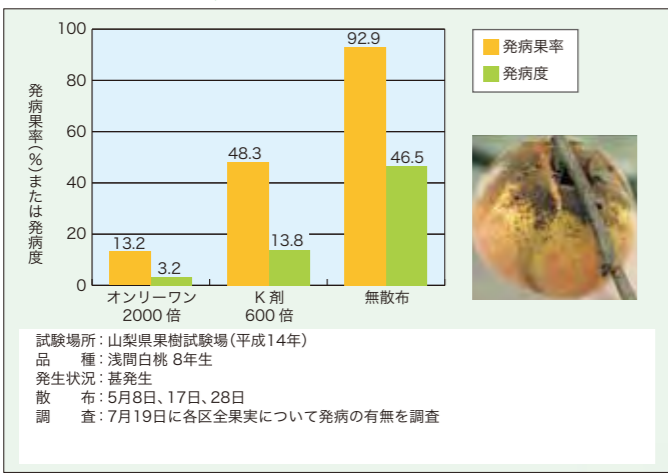


●褐色せん孔病に対する防除効果

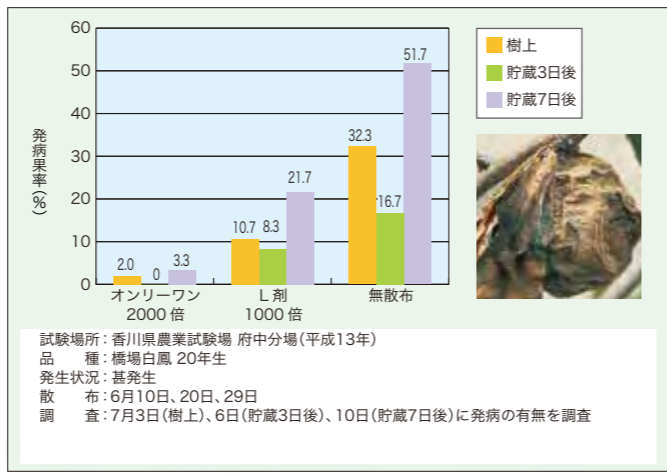


ももの試験成績

●黒星病に対する効果

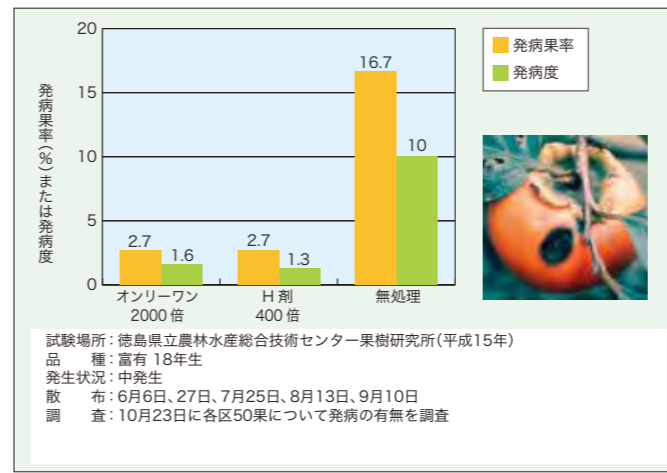


●灰星病に対する効果

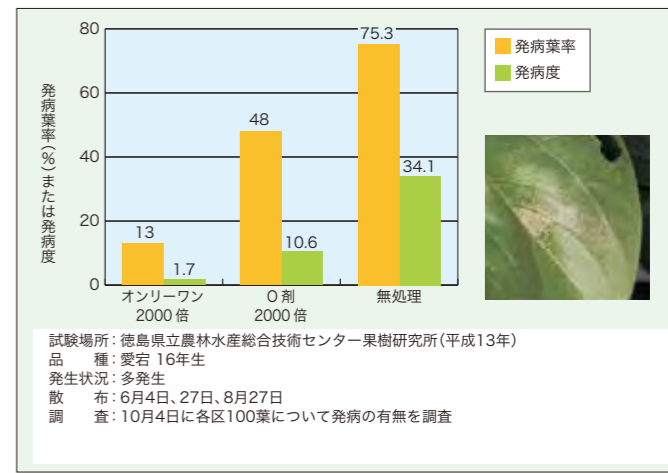


かきの試験成績

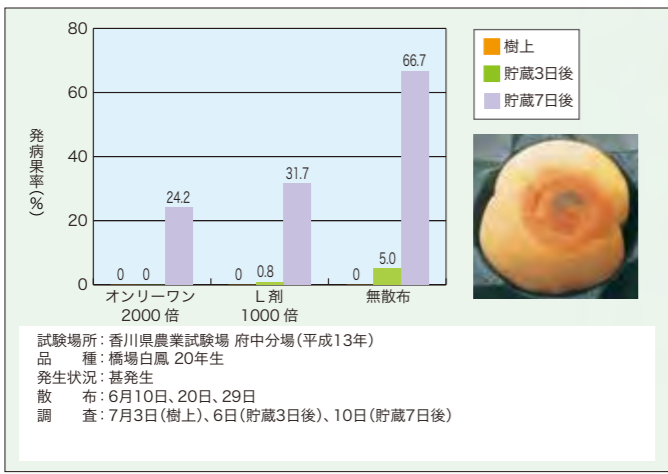
●炭疽病に対する効果



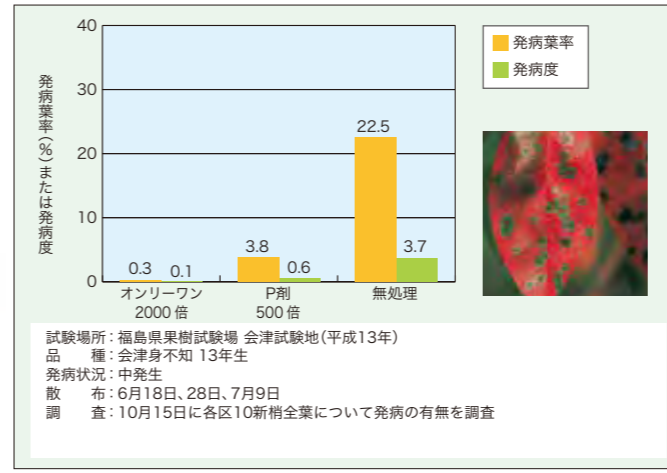
●うどんこ病に対する効果



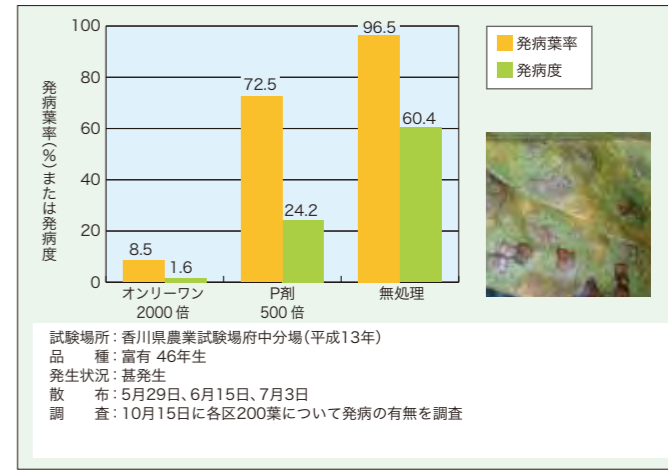
●ホモプシス腐敗病に対する効果



●円星落葉病に対する効果

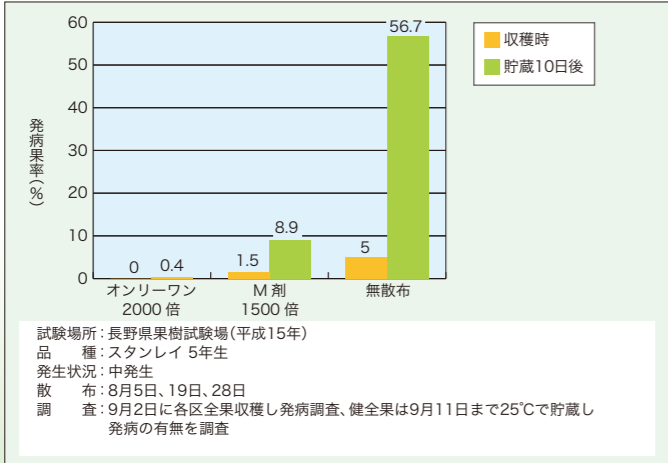


●角斑落葉病に対する効果



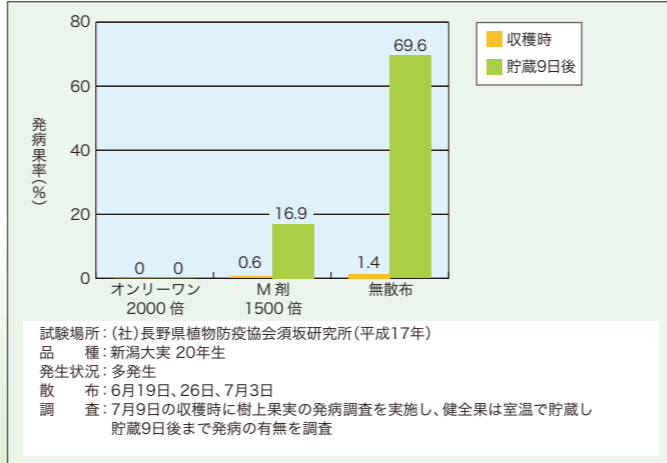
すももの試験成績

●灰星病に対する効果

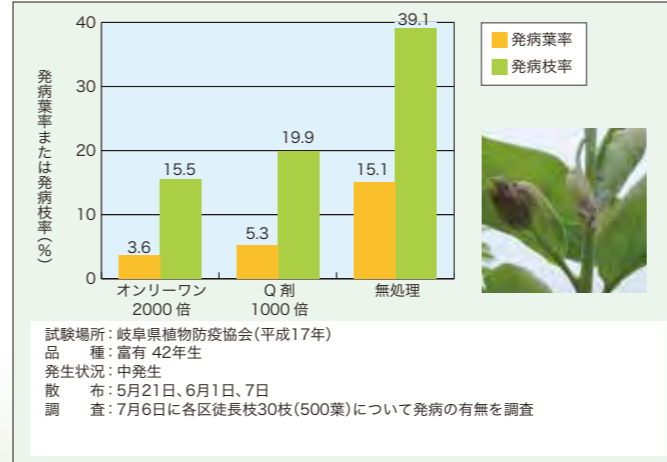


あんずの試験成績

●灰星病に対する効果

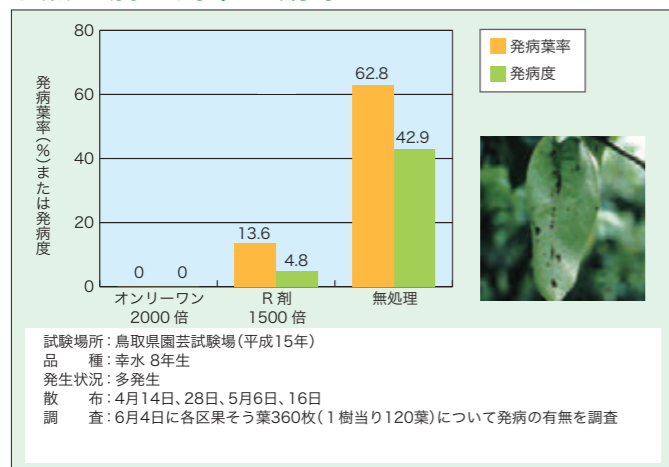


●灰色かび病に対する効果

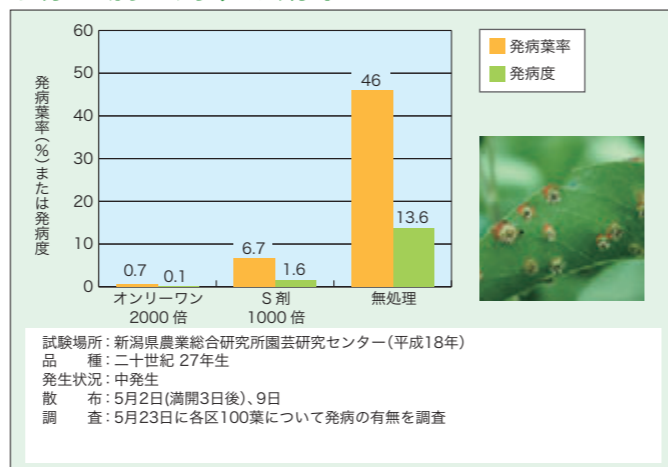


なしの試験成績

●黒星病に対する効果

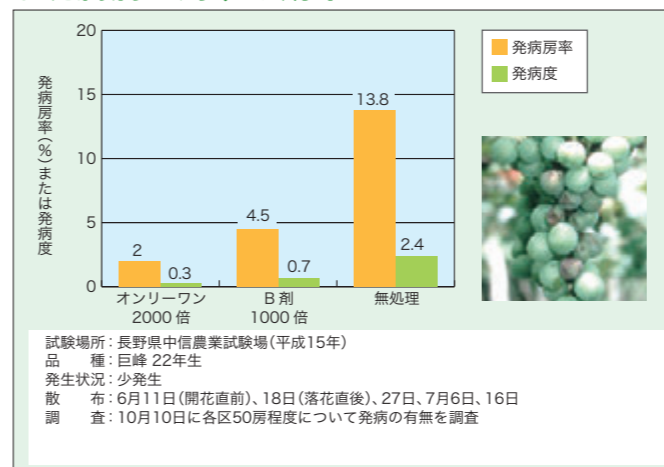


●赤星病に対する効果

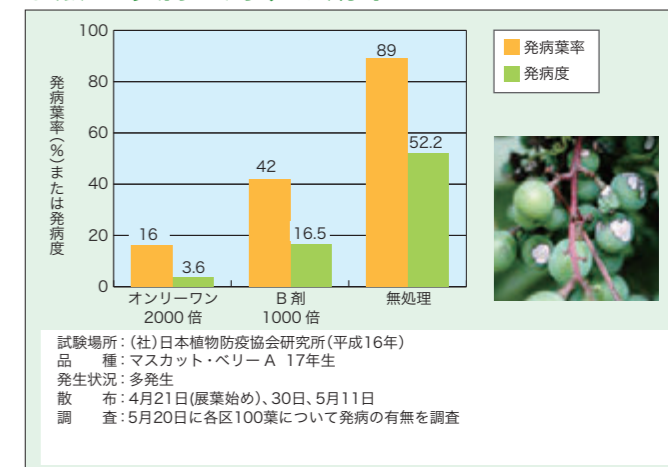


ぶどうの試験成績

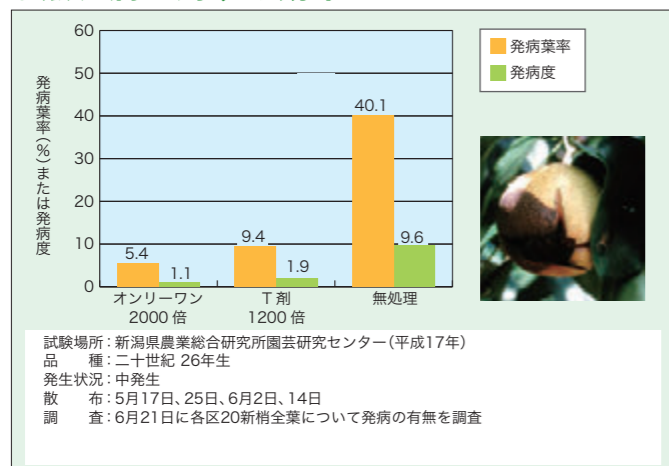
●晩腐病に対する効果



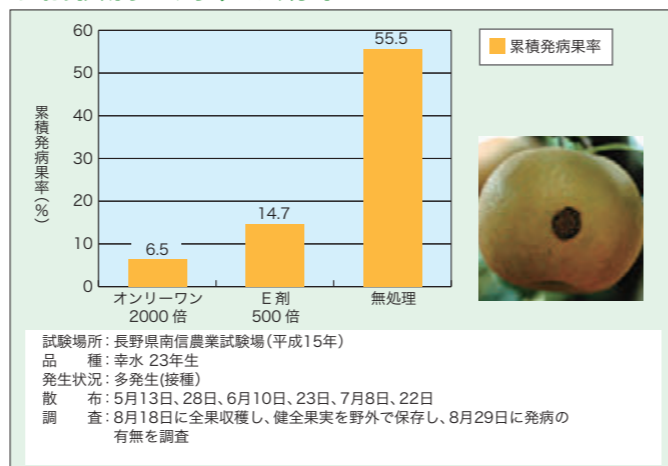
●黒とう病に対する効果



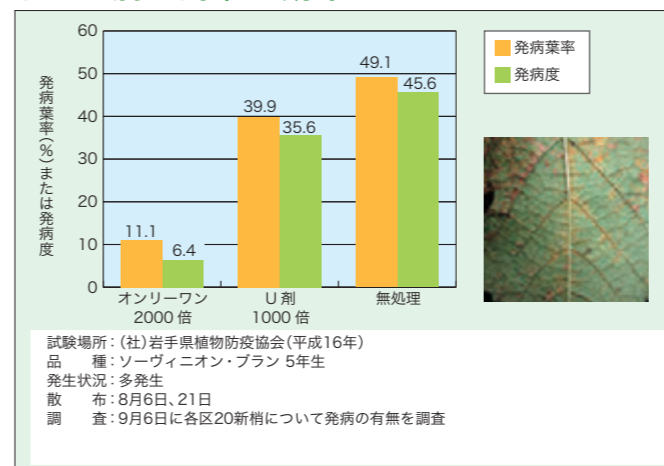
●黒斑病に対する効果



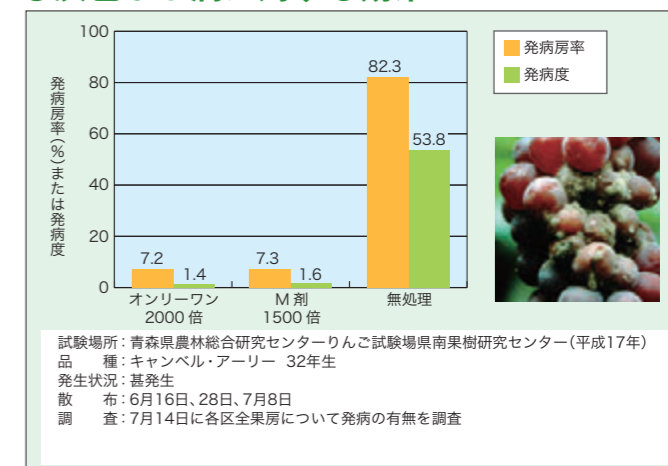
●輪紋病に対する効果



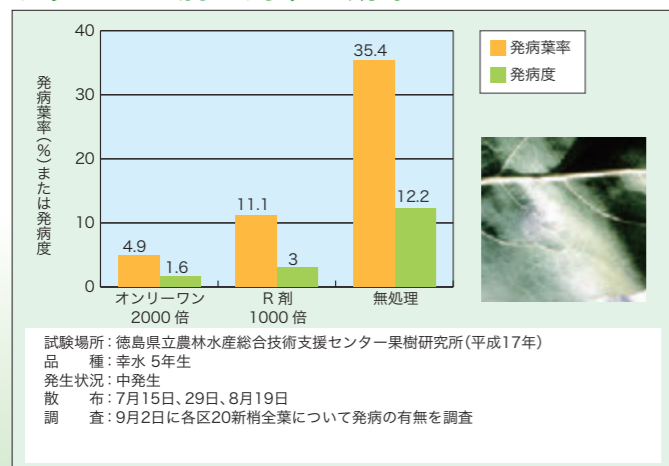
●さび病に対する効果



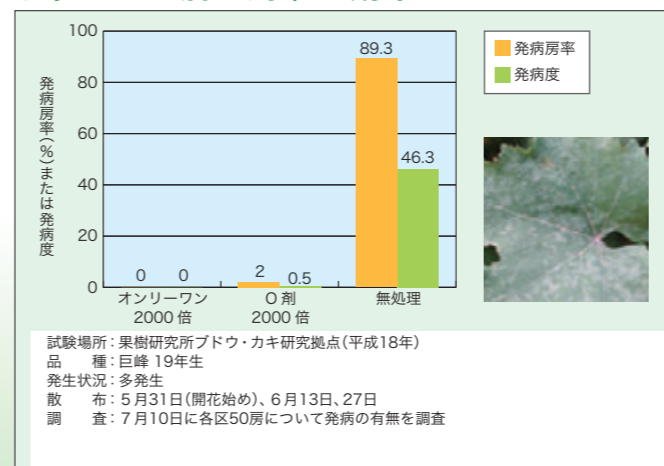
●灰色かび病に対する効果



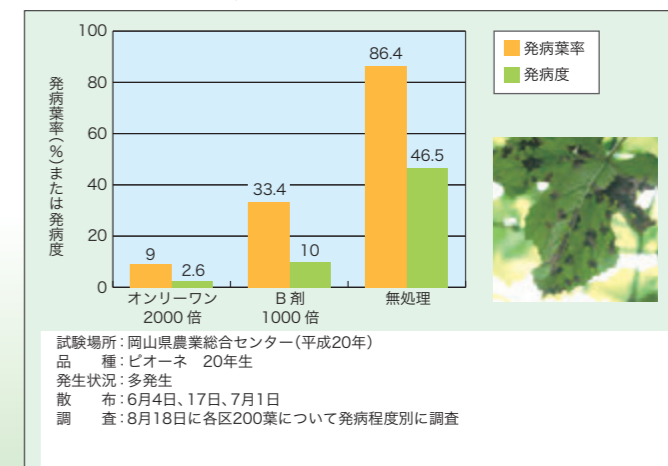
●うどんこ病に対する効果



●うどんこ病に対する効果

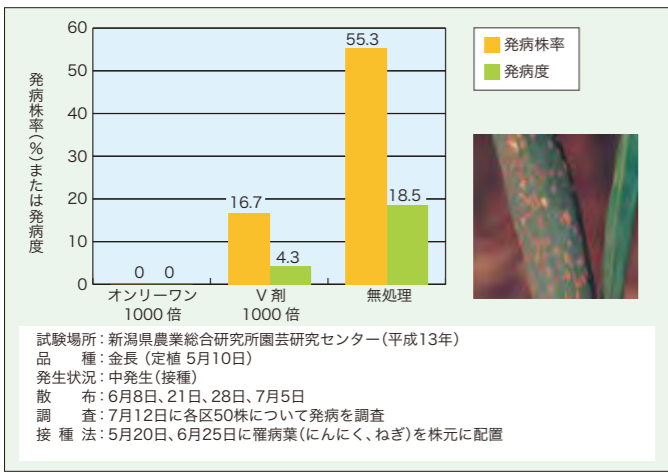


●褐斑病に対する効果

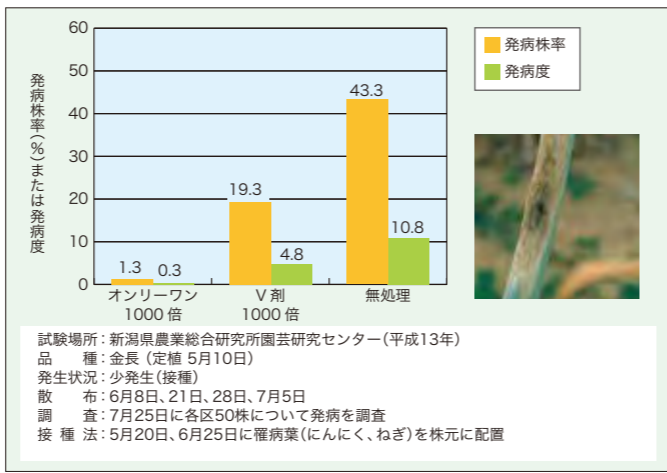


ねぎの試験成績

●さび病に対する効果

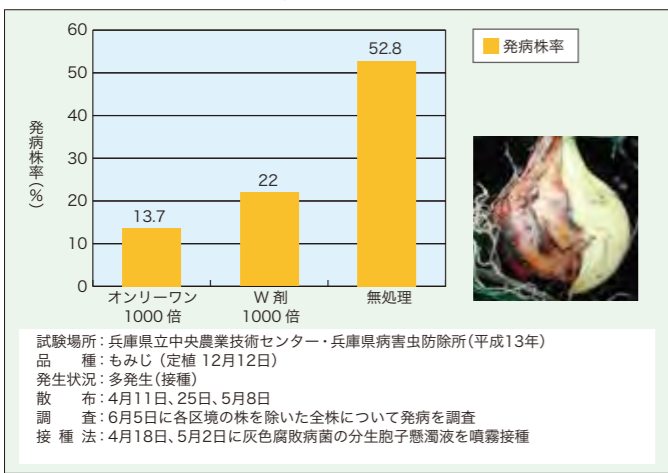


●黒斑病に対する効果

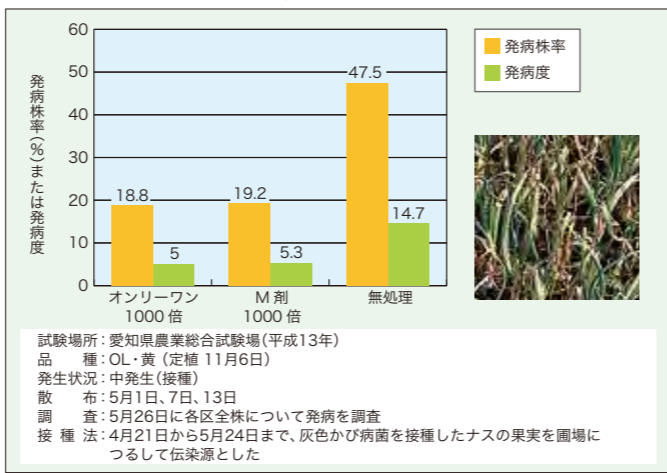


たまねぎの試験成績

●灰色腐敗病に対する効果

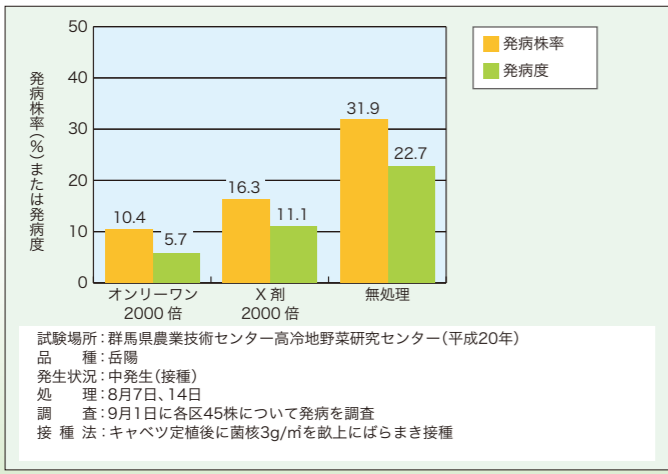


●灰色かび病に対する効果



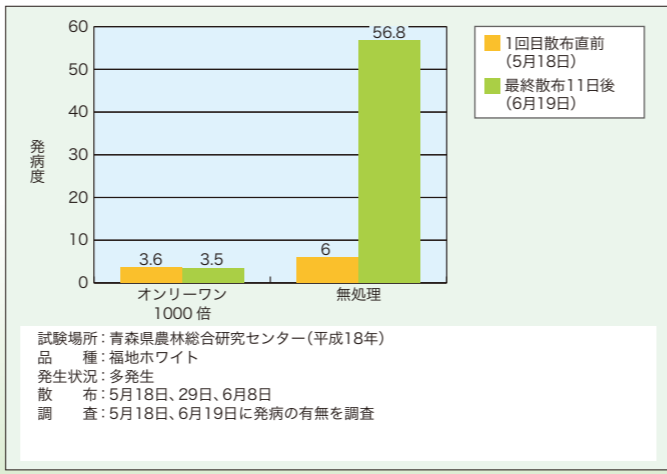
キャベツの試験成績

●菌核病に対する効果



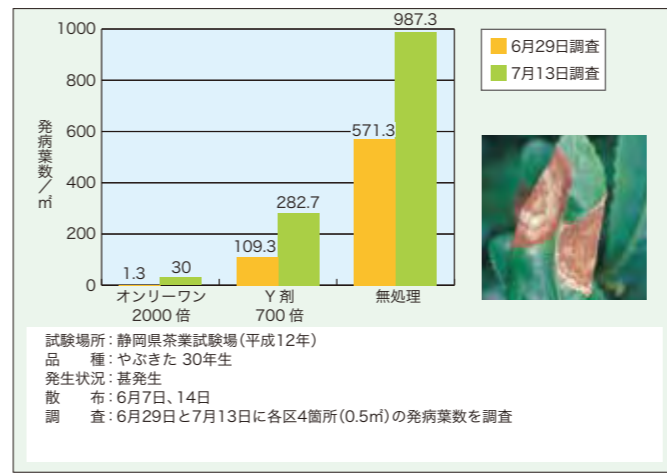
にんにくの効果試験

●さび病に対する効果

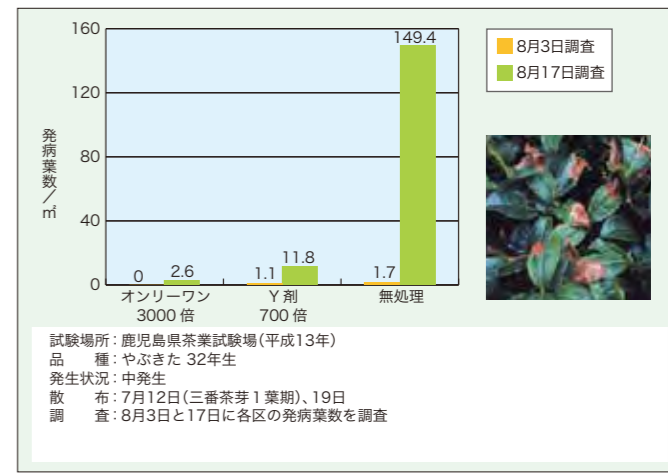


茶の試験成績

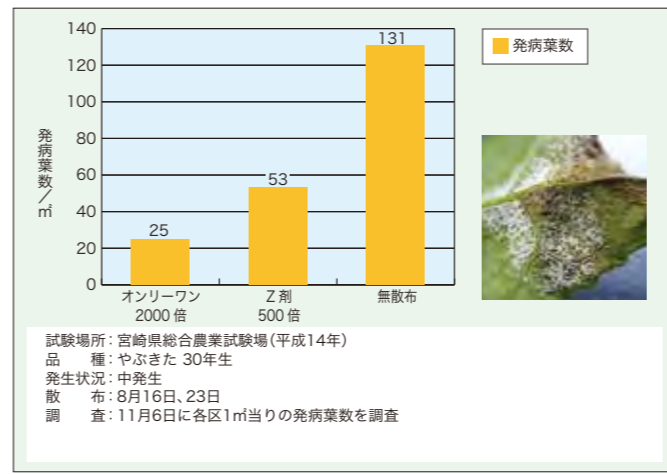
●炭疽病に対する効果



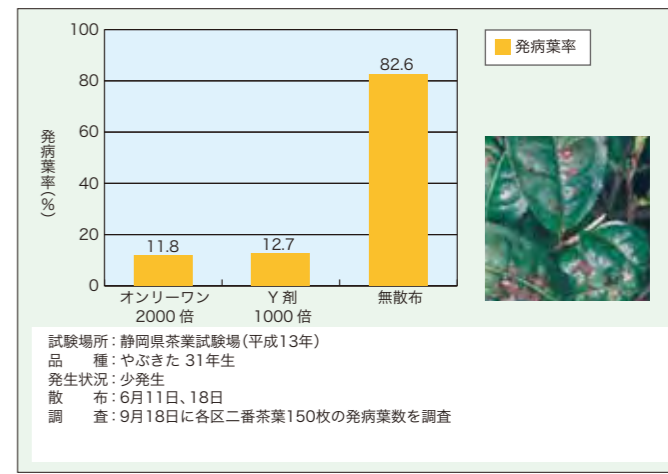
●炭疽病に対する効果



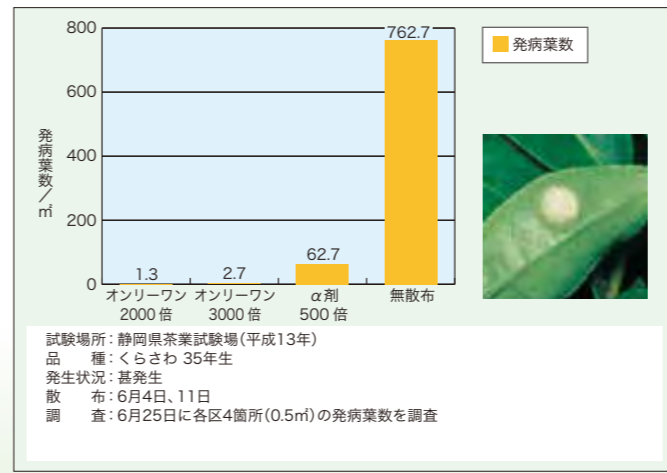
●網もち病に対する効果



●褐色円星病に対する効果



●もち病に対する効果



●新梢枯死症に対する効果

